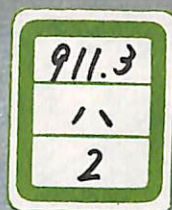


俳諧歌雙見百首

二



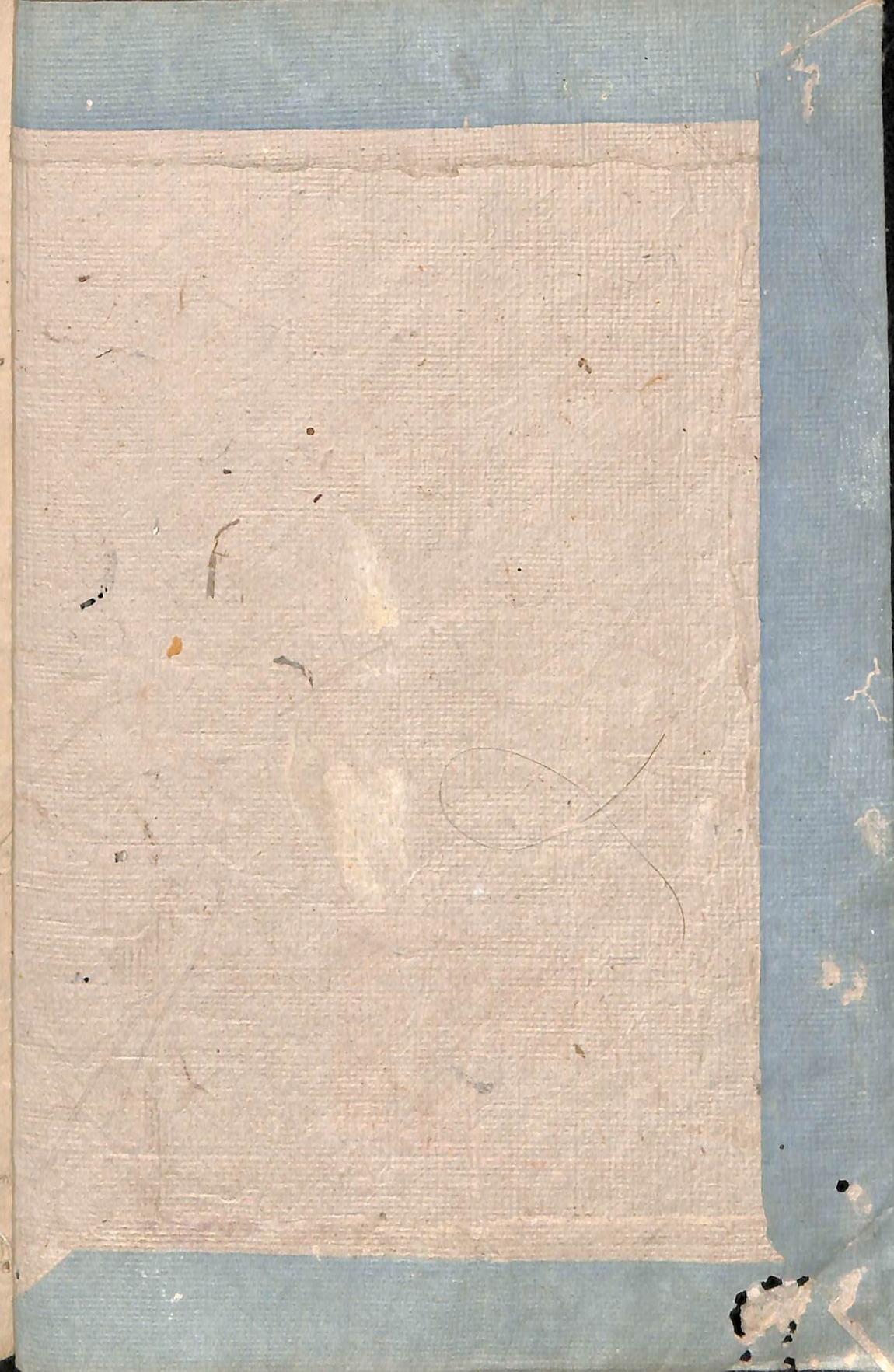
薛 維 輝

力 敏 輝

才 昌 輝

田 文 輝

春 曙 輝



春曙一 春駒六 帰鳥九 呼子鳥十

苗代十六 萱十九 杜若廿一 藤廿三

山吹廿七 三月長卅二 唐人卅四 仙宮卅五

七夜卅六 賀卅七 元服卅八 女汗卅九

篳卅九 柳四十 桂四十一 社四十二

俳諧歌雙兒百首二之卷

撰者四方歌垣真顔



春曙

波那細 和布刈せし強ふかゆめの三つ三河あむ宮戸の曙の海真門

裏微加花三 このゆふ何うあふささゆふもあふささゆふのまをれ海四 桑折 金文

ふさふさ何れもささゆふもあふささゆふのまをれ海高相 歌沙丸

あふささ何れもささゆふもあふささゆふのまをれ海十住 市住

あふささ何れもささゆふもあふささゆふのまをれ海東太夫

あふささ何れもささゆふもあふささゆふのまをれ海四 大道

裏微加花三 櫻の海に干沼の舟はあふささゆふのまをれ海仙基 長岡 山入

あふささ何れもささゆふもあふささゆふのまをれ海萬象

とめびしき... 吉原 真山

... 山形 清澄

... 狸塚 島人

... 高成

... 美都井

... 市川 常道

... 麻生 歌志久

... 戸塚 嘉年子

... 新庄 不美人

... 大坂 御空

... 新庄 真柴

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

... 水沼 實

双二一

全 真直

内 眞砂

千 眞青

金 眞鶴

信八幡 眞代

牧布施 眞水

三井 眞丸

富津 眞丸

四 眞丸

磯 眞丸

全 眞丸

土呂 眞丸

竹ノ岡 眞丸

道規 眞丸

千住 眞丸

米 眞丸

貞 眞丸

長崎 眞丸

眞砂 眞丸

吉原 眞丸

身延 眞丸

山形 眞丸

若柴 眞丸

柔折 眞丸

三浦 眞丸

河頭成 眞丸

水戸 眞丸

仙基 眞丸

双二二

封切の首の

紫ふきの

海軍の

事務の

何もの

隅の上

まの

目加花

縁を

不

月

い

い

若城丸
 真津子
 真山
 真門
 真似子
 愛丸
 真岡
 真久
 真廣
 真成
 真盛

三三三

若城丸
 真津子
 真山
 真門
 真似子
 愛丸
 真岡
 真久
 真廣
 真成
 真盛

今尾 蘭 泉

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

曙の初まふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

双二四

大 道 丸 芳 文 琴 文 成 住 好 成 唐 原 春 木 仲 藤 全 大 道

名古屋 真 歌

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

松尾ふさぎを待て待て待て待てぬまの曙

今 全

花 守 並 樹 盛 盛 放 水 子 根 住 道 辰

此物... 内匠
 真石
 真鷹
 信八幡
 真弓
 村松
 厚房
 式部
 真種
 伏種
 真龜
 大阿弥
 房伊戸
 富津
 千代丸
 富津
 教枝
 青梅
 芳文
 真富

双二五

全 真剛
 下館 棟成
 岡部 成
 全 松古
 全 籬
 八丁目 影
 御蘭 影
 美垣
 真直
 庄内 真

春駒

裏被如花三
 真の地不砂... 島人
 岩成
 最上
 央

書物を流るくちるる不列国とせし世面のさるも 萬事の利根

はあきかく梅のさるるりやふ梅をさぬとまはれさる 貞

前あきまき鹿鹿のさるるぬれむさるるさるる海の色 常道

道あきさるる梅のさるる梅のさるるさるるさるる 八

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 直路

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 喜可寿

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 金益

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 端文

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 廣主

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 見詰

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 歌名

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 真琴

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 洲長

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 新庄

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 真柴

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 全

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 駿府

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 白

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 頼方

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 春彦

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 最上

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 要

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 仙基

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 近道

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 大降

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 浮安

さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる 菱田

氣仙居大江坂

長岡

市川

常道

八

直路

喜可寿

金益

端文

廣主

見詰

歌名

真琴

洲長

新庄

真柴

全

駿府

白

頼方

春彦

最上

要

仙基

近道

大降

浮安

菱田

恒澄

市住

麟馬

大里

今井

酒盛

白

酒盛

さきさきとて... 犬 狗も... 葉新田

なる... 庄内 勝

まの... 全 吾 成 人

まの... 全 出 羽 住

まの... 全 浦 住

まの... 全 花 守

まの... 原 松 重

まの... 竹 節 成

まの... 水 竹 光

まの... 全 復 春

まの... 青 渦 卷

まの... 芳 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

まの... 文

葉新田

庄内

全

全

全

全

原

竹

水

全

青

芳

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

人

成

規

住

住

守

重

蔓

成

光

春

卷

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

Handwritten cursive text in vertical columns, likely a collection of poems or essays.

大坂 躬
全 松 彦
乘折 友
全 真
全 高 住
三袋 真 史
乘折 清 音
全 金
難波 祢
前橋 早
全 暗 記
全 夢 成
水戸 春 江
東上 尖
良 村
新庄 壽

Handwritten cursive text in vertical columns, continuing the collection.

全 文 成
全 深 樹
全 滿 枝
駿 頼 方
黒田 入 人
白 蘭 根
全 酒 盛
仙臺 近 道
坡 聒 山 人
笠 千 惠 丸
全 美 鳥
破 真 竹
仙臺 大 園
水戸 真 鍊

人びともさくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 宮崎 千本

華世ハもさくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 宮崎 千本

誰中流く併も母れがあお煮る一切空てゆれりか 長崎 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 長崎 真杉

厚さのの程さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 貝田 真杉

之舟さの程さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 仙基 真杉

そらさの程さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

あつはあの白波さくひをまら物を注ふまされて厚ハゆらん 全 真杉

花住 全
 下徳石出
 生盛
 岡住 山形
 東夷 甲府
 真留喜 吉田
 元照 全
 元改
 高持 桑折
 全
 松本新田
 三千磨 全
 長房 庄内
 真牛 全
 長門
 糸萩

京
 真惠美
 高畑
 千枝
 光貞
 小平
 元丸 牧布地
 真猿 全
 千草 天神林
 鳥 鹿教湯
 有村
 丸 鷺
 松俊 水戸
 千垣 伊戸
 塘
 磯名 土呂
 岩守 皇國より

川名 真米
 下館 真成
 千住 元
 岡部 雄
 肌義
 福養
 真直
 真杉
 多古 艷良
 甲府 久住
 廣庭
 全
 水戸 真似人
 關垣

双二十四

呼子鳥

波那細

京 真惠美
 仙臺 大園
 半田 真富貴
 福島 梧風
 白 三十春
 仙臺 春彦
 唐丸
 京 真守
 式部 真惠美
 笠間 雄
 仙沼 文
 長岡 歌
 花人

青梅 真丸
 水彦
 新庄 真柴
 仙基 真根人
 山口 真際
 津山 真影
 十住 善直
 吉原 素顔
 福養
 善直
 元

苗代

裏做加花三
 十住 元
 福養
 辛秀
 梧風

秋々又穂葉の重きうらららんるの道しる苗代の流
 苗代のもろもろしりく種まげばるあまるとんく植あつねま
 苗代ハハ備少崎幸ひのみをひもく陰の何れも
 せれつとく苗代ものころは後もハヒもふ合せをどとる
 原連をくくあまのつら苗代ハ並ぶ植や柿のつら大
 苗代ハかけ合せをくくあま川ハ河のまも同じくをせむ
 あつまた残の女まう二畝二畝うけてをくわむ苗代の水
 三月のつら田苗代のももせうかけの残の男
 苗代ハくく田原ハ後の甲しうけ柿の柿ハ残りしを茶
 葉くく柿くく河水とせむくあまむ残ハ残苗代の頂
 河とひまが植は田を苗代ハくくあまをせむ
 ハ後のつらくくをせむくくこれハ柿ハくく苗代
 苗代ハくくの道しる苗代ハくくくくの餅糖せん
 苗代ハくくくくくくの先ハ残れも細くくくく

吉原 雛丸
 藤水 藤山
 桑折 真武
 室田 真成
 真上 真鶴
 仙基 真園
 藤水 藤園
 唐水 藤園
 三浦 藤園
 市川 藤園
 常道
 枝成
 金家

苗代 目如花 川名

苗代 目如花 川名

丸 大山 群

佳 長岡 竹

水戸 自樂 悉

白川 春 彦

仙臺 真根 人

山形 松 年

松本 新 盛

吉田 真 風

竹方 道 規

嘉詞 子

群 子

今保 苗 子

三二 六

苗代 目如花 川名

苗代 目如花 川名

丸 大山 群

佳 長岡 竹

水戸 自樂 悉

白川 春 彦

仙臺 真根 人

山形 松 年

松本 新 盛

吉田 真 風

竹方 道 規

嘉詞 子

群 子

今保 苗 子

三二 六

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代の御目呼に福國の政事を知るは

苗代はかきしほうを引くふいひたるを種をも種ひひりおぼ
猪る田の池の水も堰くも替あま種をまける苗代
秋の田にわかれかきしほうをまきをはげよく引く苗代の水
苗代は井中此清水かけ月の車ひさくもゆるりりな
苗代は畦ぬりまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
苗代はまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
苗代は八十八秋もゆるりりやま中よりくもゆるりりや
これありおほくはま中よりくもゆるりりや秋合
株つまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
初年此種ゆいりくも苗代のまきくはま中よりくもゆるりりや
苗代の畦もまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
上流を苗代小田お引れては種あまのまきくはま中よりくもゆるりりや
自然くみくはま中よりくもゆるりりや秋合
田まきくはま中よりくもゆるりりや秋合

真 丘 守 鬼
今井 真
全 守
甲府 寢 覚
甲春米 田 作
吉田 真 波
白川 全
松本 櫻 木
庄内 勝 人
全 二 色
元 季
長岡 柿 人
山 入
健 雄

四三十八

苗代は竹中曲くまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
初年秋の種も種ゆいりくも苗代のまきくはま中よりくもゆるりりや
苗代は種ひひりおぼはま中よりくもゆるりりや秋合
井のまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
まきくはま中よりくもゆるりりや秋合
苗代はまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
苗代は八十八秋もゆるりりやま中よりくもゆるりりや
これありおほくはま中よりくもゆるりりや秋合
株つまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
初年此種ゆいりくも苗代のまきくはま中よりくもゆるりりや
苗代の畦もまきくはま中よりくもゆるりりや秋合
上流を苗代小田お引れては種あまのまきくはま中よりくもゆるりりや
自然くみくはま中よりくもゆるりりや秋合
田まきくはま中よりくもゆるりりや秋合

音 寿
諏方 月 好
式部 文 丘
鹿教湯 鹿 國
仙臺 麟 馬
御代風
水戸 松 俊
富津 後 春
直 蔭
吉田 内 匠
新田 真 風
全 袖 女
岡 何 光
坂 成

葉の子まゝを胎をとり又やを産苗代をいふ事ありて多く
たそがれを好むを好むは暖男ハ苗代をいふありてあり
苗代は種まゝはたれをいふむ伊勢の藤本をいふはし
角力より強々をいふとていふは苗代をいふはし
苗代の比をたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
し種まゝのをいふはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
まゝをいふは種まゝをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
名例川のまゝをいふは元性のをいふは種まゝをいふと

蕈

裏微如花三

たそがれのつゆを好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
結を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
なつていふはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
人の好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈は種まゝをいふは元性のをいふは種まゝをいふと

双二十九

たそがれのつゆを好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
結を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
なつていふはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
人の好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈は種まゝをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈中の一葉を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈中の尻を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
一葉を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈葉の中を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈葉の中を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと
蕈葉の中を好むはたれをいふは元性のをいふは種まゝをいふと

筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...

全起
全吹
真川
醉仙樓
仙臺
松代義
岩城浪
泰折薄
全金
大坂
稻荷山
新庄繁
福嶋
岐阜
真

双二一十

筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...
筆の筆に...

仙臺
全小
大園
教成
全岡
大田
名古
盛岡
甲有
名喜
全真
藤澤
下徳
生盛
大内
二色

花ふつ枝葉一ひさひさの葉子つゝのさうも佳悪のせも
 野原の畝ふられかきしんもあきすす葉まゝの那
 一物まゝのしと葉もあきすす田原のかくれ葉まゝ
 ものれこれのもうまれ一物あきすす葉まゝの那
 葉れ葉のまゝ一物あきすす葉まゝの那
 海草のまの根まゝのまゝ人の葉まゝの那
 毛のまゝのまゝの葉のれれあきすすのまゝの那
 お腹まゝのまゝの葉まゝのまゝの葉まゝの那
 これもかおのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 葉のまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 ぬあまのまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 せれれのまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 吉野まゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那

四二二

花ふつ枝葉一ひさひさの葉子つゝのさうも佳悪のせも
 野原の畝ふられかきしんもあきすす葉まゝの那
 一物まゝのしと葉もあきすす田原のかくれ葉まゝ
 ものれこれのもうまれ一物あきすす葉まゝの那
 葉れ葉のまゝ一物あきすす葉まゝの那
 海草のまの根まゝのまゝ人の葉まゝの那
 毛のまゝのまゝの葉のれれあきすすのまゝの那
 お腹まゝのまゝの葉まゝのまゝの葉まゝの那
 これもかおのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 葉のまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 ぬあまのまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 せれれのまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 吉野まゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那

杜若

花ふつ枝葉一ひさひさの葉子つゝのさうも佳悪のせも
 野原の畝ふられかきしんもあきすす葉まゝの那
 一物まゝのしと葉もあきすす田原のかくれ葉まゝ
 ものれこれのもうまれ一物あきすす葉まゝの那
 葉れ葉のまゝ一物あきすす葉まゝの那
 海草のまの根まゝのまゝ人の葉まゝの那
 毛のまゝのまゝの葉のれれあきすすのまゝの那
 お腹まゝのまゝの葉まゝのまゝの葉まゝの那
 これもかおのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 葉のまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 ぬあまのまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 せれれのまゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那
 吉野まゝのまゝのまゝのまゝの葉まゝの那

高如
長岡
入

水戸
比羅久
川常

瀬谷
豊磨
一人

磯也
湍卷
年久

全
四
川

甲府
萬象
水芳

十住
朱貞
丸

今目
星影
松雄

身延
若柴
文雄

甲府
二水
関垣

鳥人

千住
東木夫
真村

市川
真河
琴富貴

小町

岩城 真酒躬
 最上 真鶴
 釜間 真文
 市川 真河
 全 真影
 庄内 真辰
 青梅 真盛
 東上 喜代住
 長岡 真鶴
 水戸 竹住
 岩城 寺秀
 栗折 真酒躬
 柳 空

大坂 金糖
 全 春樹
 菟蒨 陀房
 水戸 洲長
 白川 野長
 寒川 水野
 清江 丸野
 岐阜 真丸
 仙臺 真啓
 小 綴啓
 大田 原文
 春 文啓
 小屋敷 文啓
 小 啓人
 甲府 久啓
 近 湖
 犬山 栗法師
 石出 友俊

山形

松野

今井

甲府

三春

松本新田

全

全

三千磨

万更馬

千金

照道

真葛

小平

賀多丸

川常

由喜丸

真米

双二二三

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

竹の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

梅の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

杜若の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

杜若の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

紫の葉のつぼみはあざやかな花の枝あり

藤

破那細

裏加花三

裏加花二

裏加花一

裏加花

裏加花

裏加花

裏加花

裏加花

裏加花

肌義 真種 松俊 千代人 真素 藤 鳥人 月美都 真直 香成 入升 水哉 琴富貴

まつりくまのいまは... 若根
 瑞穂の... 真史
 松風... 吹成
 後... 歌名
 波... 室田
 室... 壽直
 新... 繁留
 新... 文成
 仙... 真根人
 柔... 山文
 益... 仲空
 千... 美豆保
 甲... 久磨
 萬... 事馬
 松... 俊

池... 四
 紫... 米也
 目... 蔭友
 枯... 歌志久
 女... 勝躬
 枝... 万事馬
 目... 真山
 目... 苗子
 今... 百合丸
 印... 西
 新... 壽
 仙... 唐丸
 水... 光貞
 名... 長岐
 真... 招

月かまゝに袖取らばしきまゝあつてふよけひの葉の藤 真門
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 蔵前
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 菅成
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 高成
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 信米島青成
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 若山歌雄
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全下美
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 長岡愛丸
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全花人
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全虎丸
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全竹住
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 青梅真丸
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 松代真長
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 岩城鳴海
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 戸塚真酒助
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 嘉年子

ま凡の海に物もよそそと流すもたれぬ後の波 全真仲
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 梧風
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 桑折廣主
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 二ヶ袋金鷹
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 桑折金鷹
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 半田菊住
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 水戸麓
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全雜柚
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全洲長
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 新庄良材
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全文成
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 全山鳥
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 水沼實
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 笠松千恵丸
 葉のまふまゝあつてふよけひの葉の藤 仙臺大園

これも又かぎりなくも足るなりもいふ所のあはれなるものなり
獲られど其の地を神のまゝあつたてしむるもまじき事なり
さしあはれなるものなりもいふ所のあはれなるものなり
おまをわつれあつたてしむるもまじき事なり
葉のたぐひも極へ竿のこたけも神のまゝあつたてしむるも
陸奥のあはれなるものなりもいふ所のあはれなるものなり
まはれぬもいふ所のあはれなるものなり
ゆゑもいふ所のあはれなるものなり
葉のたぐひも極へ竿のこたけも神のまゝあつたてしむるも
極へ竿のこたけも神のまゝあつたてしむるも
のどろろもいふ所のあはれなるものなり
りあつたてしむるもいふ所のあはれなるものなり
葉のたぐひも極へ竿のこたけも神のまゝあつたてしむるも
さしあはれなるものなりもいふ所のあはれなるものなり

松重

朱人

鳴音

兼磨

千篤

若水

鹿角

歌都美

川船

入船

樽人

真米

米負

あつたてしむるもいふ所のあはれなるものなり
葉のたぐひも極へ竿のこたけも神のまゝあつたてしむるも
男松のたぐひも極へ竿のこたけも神のまゝあつたてしむるも
おまをわつれあつたてしむるもいふ所のあはれなるものなり
咲きたるもいふ所のあはれなるものなり
向ふもいふ所のあはれなるものなり
よもいふ所のあはれなるものなり

東大夫

松古

真種

芳風

盛益

真直

市住

山吹

波那細
波那細
裏微如花二
裏微如花三
新庄
大坂
真似子
真勝
真龜
真直
真古
真常

物とせしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

稗教 山形 千積

とていふもあはれ物といふはのせむするもふらと降は流引のせむする山吹の枝

松代 貞子

後冊のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

最上 秀雄

あはれ物といふもあはれ物といふはのせむするもふらと降は流引のせむする山吹の枝

全 秋徳

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

新庄 友鶴

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

市川 貫戸丸

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

常道 近湖

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

東夷 元季

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

全 吾丸

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

出羽住 采守

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

真亀

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

千住 采真

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

全 里元

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

草加 早丸

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

石和里 歌志久

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

草加 春雄

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

川谷 推丸

山吹のうらむしむるもふらと降は流引のせむする山吹の枝

福島 安丸

山形 千積 藤塚 子 氣山 沼 貞 松代 秀雄 最上 秋徳 新庄 友鶴 市川 貫戸丸 常道 近湖 東夷 元季 全 吾丸 出羽住 采守 真亀 千住 采真 全 里元 草加 早丸 石和里 歌志久 草加 春雄 川谷 推丸 福島 安丸 駿府 盛方 名吉屋 弘器

岐阜 山人
 仙基 大園
 比左志
 菊 俊
 石 水
 小屋 敷
 山 近
 大 彦
 名古屋 旧
 山形 巴
 甲府 松
 春米 千 聚
 吉田 道守 改
 恒 雄
 松本 新田
 庄内 陰 廣
 外 成

双三十一

全 二 葉
 長門 友 住
 柿 人
 鳴 音
 真 杉
 村松 厚 志
 天神 林 保 鳥
 麟 馬
 高森 桃 晔
 竹 光
 降柳 素 直
 全 真 影
 富津 松 友
 土呂 采 也

つぶしと神はあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 百のこころのたのむおとあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 折るるば折の節をへんまのり花かあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 弱きあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 磯の家のまをまのつとめのおもひとてかたじけなく
 本居のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 山延のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 草如のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 市住のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 角芳のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 身延のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 山延のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 直竹のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 三崎のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 芳風のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 大山のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 山形のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 本好のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 全のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 目久美のあまのつとめのおもひとてかたじけなく

三月盡

裏微如花三

岩城のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 柔新のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 水戸のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 片倉のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 佐倉のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 長竹のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 仁熊のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 半田のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 岩城のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 真富貴のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 半田のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 真酒躬のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 最上貴丸のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 豊秋のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 新庄良材のあまのつとめのおもひとてかたじけなく
 美舟のあまのつとめのおもひとてかたじけなく

東奥 仲道

真惠美 和田 蕪生法師

柿人 諏方 良村

清水 甲府 春風

有安 富津 松友

全 全 松友

千代丸 十住 朱貞

岡部 吉雄 三井 常恒

双二三十二

目妙如花二

潮洋 花丸 祿原 水哉

島人 藤家 子電 大田原 春文

目妙 細 柳 春文

島 子電 藤家 柳 春文

深見 清通 川真 昌二

長岡 花人 祿津 水哉

仙基 此 道

取上 波々 伎 春

小舟山 徳鳥
 最上 秋穂
 麻生 歌志久
 越中 住
 駿府 直蔭
 全 宣俊
 成阜 駿山人
 全 真美
 小屋 比左志
 藤澤 商人
 庄内 都代志
 柿崎 外成
 全 瀬踏
 全 洪成

双三十三

一馬
 竹光
 伊戸 等
 富津 丸
 全 松丸
 喜樂
 東条 奥成
 磯辺 愛良
 人真似
 江尻 雛丸
 雪齋
 米守

唐人

彼那細
 樊旌期が雙とて入るを輕くして荆軒小政かせしめり
 裏做加三
 まゝの形も祖傳やむ其は流つらん
 鳴音
 真龜

新庄 柴
大坂 松彦
萬象
草如 街
松代 早丸
市川 石綱
市垣 廣
小町 水哉
岩城 琴富貴
戸塚 真酒躬
二袋 真幸
福島 真史
二本法師

裏倣 萬象
打解くかめの後へまれば一た子の敷き代や解ん
後へまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん
目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん
鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん
目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん
鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん
目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん
目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

鳥ぬふかむもまればまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

目加 我まのまゝもどえ一人のついでに保く保入るん

裏倣 仙宮
水哉
信天 真水
天林 真水
高根
外成
庄内 百合丸
印西 繁門
盛岡 五徳亭
三浦 美鳥
天童 羽廣
坂阜 持
宇都宮 春
全 千慶

仙人不極とてなれりとの時ハ五母もあつき教やうりてん
十住 街

不智門 長生句とて速き心と著る山人久しうりてん
程家 高成

裏做如花三 三の年ふあつて物ハ幸若の幸若人の名ふありてん
片倉 川常

裏做 瑞瑞の門 瑞瑞の扉もきれりてんハ怪もあつぬ仙宮
真門

田ハ甚とてあつぬ因不朽とてんてんてんてんてんてんてん
白折 川彦

月あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
駿折 直鶴

山人の住家ハとてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
山口 山際

栢の洞もあつて仙人の圃甚とてんてんてんてんてんてん
川船

生業とてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
善直

仙人のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
全

仲人の翻もあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
石綱

目如花三 目如花三 目如花三 目如花三 目如花三 目如花三
藤塚 蔵人

目如 目如 目如 目如 目如 目如 目如 目如 目如 目如
松代 男依

かの圃甚とてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
双三十五

斧の柄の柄もあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
市川 真河

圃甚とてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
戸塚 真津蔭

仙人のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
白折 折鶴

お世もあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
全 春彦

弟のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
長崎 真砂

えん人もあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
仙基 千條

斧柄のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
市川 真垣

仙人のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
川内 真丸

山人のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
真牛

お世のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
真杉

月や日の出入もあつてあつてあつてあつてあつてあつて
全 四

仙人のまあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
三羽

仙丹とてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
井丸

命をバ華の代を辨へくまあるききぐまあり人う於 岡部 鳥柴
はりの枝をいハまれど泪の中らうもどろのたこき世の心 松 俊
仙人のいんげんを基ハるまをいもどきもまらやらん 福 養
形をぬくまをいのい遠人かびあさび世ハ人となり 淵 垣

七夜

裏後

真龜

いやまあもあくて七夜お孫の病のまをいもどきいこうなる

市川 芥丸

裏後

真河

糸の糸もくね根ハ膏ハ物のもをいもどきいあれたあのこと

岩城 暖丸

沸くこれきききの根はまのいあやあある母もあはをいもどき

三羽

きつてつりお御衣あおまやあま今ふめぞらる

村松 常恒

あつて男をいもどきいもどきハ行をいもどきい初あありえ

厚房

目妙

干雄

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

双二三六

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

市川 大路

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

松代 秀雄

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

桑折 眉澄

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

甲府 久磨

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

大内 大道

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

和內 吾丸

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

和田 浦住

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

上田 片倉

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

川 常

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

全 四

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

千住 美豆保

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

賀

裏後

内匠

あつていんげんをいもどきいもどきいあはあどねびおぬり後まあまの強敵

内匠

ふ代とつむ髪ハ君れ寝る女古舞のく八十の湊はりて

おそぬひ白髪大根もくはまひのりよま此未のらそよそと

百とせの人もあり柿ありんむせぬ門おねぶまき

三子の毒おろもて流る七千や八十九千のれ救うと

ふいふとて整とててつくはたののりつごありと

目奴如花二 目奴如花一 目奴如花一

おのの解ハはくともそと流るのれ兼ふ代とらざりて

る年おのびかりくむ人の九十九めとて一秋の二が

七十年よふ十八ありけのちと春くよひの解も

君も又これおあんとおのりもひふ代一たの白ふとらん

何ゆとる部も徳とふも代ハ里もかきとぬすか

ヒ十のこもあふんてんふふ年ふ代年やつひん

まきしめせ初も部もこれおはれてまあは代もて

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

おのれおあふんてんふふ年ふ代年やつひん

石 洞

万 馬

折 鶴

香 美

鳴 音

水 記

伏 廣

蔵 成

桑 成

長 成

吹 成

松 成

美 成

若 成

真 成

酒 成

見 成

詰 成

東 道

仲 道

福 道

清 道

大 道

景 道

三 道

五 道

裏微如花二

裏微如花一

裏微如花一

目奴如花二

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

目奴如花一

草 丸

早 丸

山 丸

長 丸

吾 丸

庄 丸

内 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

丸 丸

市住

嘉詞子

升成

葉廣

枝成

市住

麟馬

浅政庵

諏方

川常

三羽

近湖

芳風

世の人

世の人

三十八

萍

京 真惠美

石 綱

水 彦

村 厚

伊 房

小田 塘

新 廣

井 服

繁 樹

千 街

藤 里

光 貞

村 厚

厚 房

裏後加卷三

底志るぬ二階川の萍を凡かこの

乃るもの思ふつりくはみふ萍の

裏後 普つるあははあこれかこくれか

移なくこの移もむぬ萍のむは死

ささあふあれど動くぬ萍ハ池の

目妙 うらまゝともも能くふささ

ささあ風わをもとのささ萍の根

萍のあがりく月のあつぬハ日

上りふかしの移さあのを此二

昔の中ふあゝあつてはは萍は

紺摺が係りあゝあゝ藍さこの

風あびく柳後ととをさあハ

川のされ萍

世
 千住
 真龜
 熊雄
 石綱

世

彼那細
 吉原 大道
 裏微 松代 素顔
 半田 千税
 市川 真富貴
 大山 兼安
 大坂 春樹
 赤津 水哉
 高畑 歌少丸
 仙基 文好
 日妙
 双二三十九

東奥 仲道
 仙臺 真根人
 桑折 山文
 庄内 二色
 真龜
 松成
 開垣

柗

小田原 廣
 岩城 丸
 氣仙 嵐
 笠間 仲空
 甲府 久磨
 四

山葉のさむらのらば柿葉ハまはるるをさうり合さる
十住 東大夫
 柿の月八月ハあまのまゝにしてち隆馬うかた氏のまゝなり
全 蛙丸

挂

裏微

ちかり医のちあひる桂枝湯家の凡そ歌をよそ押へり

祿津
 水哉
在內

ちけいりの凡そまはるの杜松ちけいのむささるる
 ちけい一樹の白髪ちけいのひささふさふさるる桂枝を

片倉吾丸
川常

目抄

ちりもちりもちりも冊湖のむ種うこのまおしそがのらん
 ちりもちりも星のちの中ち又人目ふちり八月の桂木

吉原
 素顔
氣仙沼
 貞

ちあまちいよ別ちけいのむらるる桂の中ある桂枝をよそ

文雄

桂木のちり桂枝をよそ凡そまはるる桂枝をよそ

社

裏微如花二

神のちりもちりもちりも桂枝をよそまへ桂枝をよそ

祿津
 水哉
新庄
 真柴

裏微

桂枝をよそ桂枝をよそ桂枝をよそ桂枝をよそ

柔州
 眉澄

四二四

目抄如花一

ちりもちりもちりも桂枝をよそ桂枝をよそ

長崎
 真砂

目抄

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

庄内
 訓文
麻生
 歌志久

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

岩城
 真酒躬
全

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

駿府
 弓獵

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

會津
 貫戸丸

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

鉾田
 升成

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

名古屋
 香久美
全

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

千住
 街

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

大内
 大道

桂枝のちりもちりも桂枝のちりも桂枝のちりも

二色

家 金 家 方 諫
 量 全 原 新 田
 持 卷 牧 布 卷 千 苑
 草 千 佐 山
 近 杉 原 盛
 全 住 真 神
 草 入 早 丸 船
 市 住 真 顏

俳諧歌集見百首三之卷終



家
方

